



2019年5月24日～7月7日
MINIATURE LIFE展
—田中達也 見立ての世界—

この街と、これからも —周南市美術博物館30周年—

1995年9月4日、周南市美術博物館(旧・徳山市)が開館しました。

通称《美博》。それは戦災で焦土と化したこの街の長年の夢であり希望でした。

その基盤となったのが、1982年に開館した周南市文化会館の展示事業です。そこにはホールとともに県東部でもトップクラスの展示室(333㎡)が完備されていたからです。

ここで強力に推し進めたのが、戦後空白になっていた文化的資産の発掘と公開でした。事業名は「郷土文化シリーズ」。この地に関わりのある文化人や歴史資料を展覧会を通して紹介するものでした。

徳山毛利家資料をはじめ日本画家・大庭学僊、水彩画家・河上大二などすべて手作りの企画展で都合11回開催しました。また多くのご要望から実現した全国規模の有料展も積極的に誘致しました。

1980年代後半になると、とりわけ美術振興を願う声が高まってきました。そんな中、世論形成に弾みをつけた展覧会がありました。

ひとつは1989年に開催した「宮崎進展」。安井曾太郎記念賞を受賞した売れっ子作家による回顧展でした。それはこの地の美術全般を牽引できる逸材の登場でもありました。

いまひとつは、1990年の出光美術館所蔵「ルオー展」。特筆すべきは門外不出だった「バッシュオン」「ミセレーレ」の展示です。受け入れ側の力量が認められた瞬間でした。さらに驚かされたのは当時、地方都市とは思えない1万6362人もの入場者を記録したことでした。

こうした現実、すでに計画されていた郷土資料館構想と合流し、1992年には館名に美術が盛り込まれることになりました。

そしてここから《美博》の運営形態が固まってきたのです。

博物館法のもと資料を調査・収集し、研究し、展示・普及し、保管し未来へ伝えていくという基本理念の策定です。

その中心となったのが、資料の収集方針です。顔となるコレクションには、洋画家・宮崎進、写真家・林忠彦、詩人・まど・みちおの3人を据えました。全国レベルで同時代性を重視しました。それに歴史では、この地を治めていた徳山毛利家資料、その後2003年からは、周南合併に伴い尾崎正章資料も扱えるようになりました。

30年目にして思うことは、やはりこの地における《美博》の在り方です。この先もこの地域の文化から「知」を集積し、そこから新しい「知」を生み出し、その「知」を継承し続けること、そしてその全てを市民の皆さまへ還元していくことだと思っています。

それではこれまでの入場・入館者の概況(前年度末)です。子どもから大人までもっとも関心の高い「宮西達也展」「安野光雅展」などの有料展の開催数95回。なかでも一番入場者数が多かったのは「田中達也 見立ての世界展(上掲)」で33,413人。開館来もののべ入館者数2,281,517人。いかがでしょうか。

私は皆さまが《美博》に寄せてくださった身に余るご信任の賜であると受け止めました。《美博》は市民の皆さまのご理解、ご協力が無ければ成り立ちません。これからもご支援の程、よろしくお願いいたします。

(周南市美術博物館館長 有田順二)

8月から、周南市美術博物館ロビーに30年間の展覧会チラシすべてをプリントした「この地に30年。この街と、これからも。」と題するタペストリーを掲げています。是非、ご覧いただければ幸いです。



第23回 周南市美術展2025

10月5日(日)に公開審査を行います。

見学については予約制(周南市文化振興課宛て、往復はがきに) [9月24日(水)必着]

◆会場 周南市美術博物館 展示室1・2・3

◆会期 前期展覧会〔書・写真〕10月15日(水)～10月19日(日)
後期展覧会〔平面・立体〕10月22日(水)～10月26日(日)

9:30～17:00(入場は16:30まで) 月曜休館 ※10月15日(水)は、表彰式後10:00から開場

◆問い合わせ先

運営全般に関すること … 周南市文化スポーツ観光部文化振興課(文化振興担当)

〒745-8655 周南市岐山通1丁目1番地 TEL 0834-22-8622(8:30～17:15 土日祝は休み)

作品・展示に関すること … 周南市美術博物館

〒745-0006 周南市花畠町10番16号 TEL 0834-22-8880(9:30～17:00 月曜休館 ※祝休日の場合は翌日)

観覧
無料



詳しくはこちら



前回の展示風景

※最新情報は、市と美術博物館のホームページでご確認ください。

参加者募集

周南かるちゃあサポートセンター主催

美術博物館 探検ツアー

展示の秘密をのぞいてみよう!

ワクワク! ドキドキ!

さあどんな体験ができるかな?

- 日 時 10月26日(日) 午後1時30分～2時45分(予定)
- 場 所 周南市美術博物館
- 対 象 小学4・5・6年生、中学生とその保護者 ※市外の方も大歓迎です!
- 定 員 5組(お子さまだけの参加はできません)
- 参 加 料 無 料
- 申込方法 往復はがきに①住所②参加者全員の氏名・年齢③お子さまの
学校名・学年④電話番号を明記のうえ、周南市美術博物館
(〒745-0006 周南市花畠町10-16)までお送りください。
- 問い合わせ TEL 0834-22-8880(周南市美術博物館)
- 締 切 10月10日(金)必着 ※希望者多数の場合は抽選を行います。

周南市美術博物館開館30周年記念・山口放送開局70周年記念・香美市立やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム開館30周年記念

やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ

11月14日(金)～12月28日(日)

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
月曜休館 ※ただし、11月24日(月・休)開館、翌25日(火)休館

観覧料 ■一般:1,300円(1,100円) ■大学生:1,000円(800円) ()内は前売および20名以上の団体料金

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料

18歳以下無料

11月号で財団会員ご招待(家族会員は一家族につき2枚)

前売券は9月上旬より発売予定

アンパンマンの生みの親・やなせたかし(1919-2013)の初の大規模巡回展です。漫画家、詩人、絵本作家、イラストレーター、デザイナー、編集者など多彩な活動を繰り広げたやなせは、極上のエンターテイナーでもあります。彼は「人を喜ばせること」を、人生最大の喜びとしていました。

本展は、2026年にやなせたかし記念館アンパンマンミュージアムが30周年を迎えることを記念し、原画約200点を中心に、「やなせたかし大解剖」「漫画」「詩」「絵本/やなせメルヘン」「アンパンマン」のテーマで作品を紐解きます。私たちに勇気を与え続ける作品をぜひご覧ください。

①記念講演会 11月16日(日)14:00～ 要事前申し込み

- 講師/仙波美由記氏(やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム振興財団事務局長、学芸員)
- 場所/美術博物館 講座室 ■定員/50名(先着順)

②記念講演会 11月29日(土)14:00～ 要事前申し込み

- 講師/倉崎恵氏(NHKチーフ・プロデューサー(連続テレビ小説「あんぱん」制作統括))
- 場所/美術博物館 講座室 ■定員/50名(先着順)

③やなせたかしの絵本読み聞かせ 12月21日(日)10:30～ 要事前申し込み

- 読み手/KRY山口放送アナウンサー ■場所/美術博物館 講座室
- 定員/50名(先着順) 詳細については決まり次第、ホームページにてお知らせします。

学芸員によるギャラリートーク 申し込み不要

11月24日(月・休)、12月13日(土)いずれも14:00～

*企画展観覧券をお求めの上、展示室にお集まりください。



申し込み方法

イベント①②③は、電話で美術博物館(TEL0834-22-8880)までお申し込みください。定員になり次第締め切ります。参加無料。ただし企画展観覧券(半券でも可)が必要です。

ローソンのソフトクリーム

各246円(税込)

ローソン徳山動物園前店 0834-32-8363

※画像はイメージです。

美博クイズ～!〈140〉 もんだい

1995年度から2025年度までに、美博で開催した展覧会はどのくらいになるだろう?

①約50回 ②約100回 ③約500回

ヒント P.5～P.8にこれまでの展覧会のチラシが載っているよ。どんな展覧会が開催されたのかチラシを見ながら、数えてみよう

周南市美術博物館 常設展示

- 常設展観覧料：一般200円(160円) 大学生等100円(80円) ()内は20名以上の団体
※18歳以下および70歳以上無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日：月曜日 ※ただし、9/15開館、9/16休館

展示室 3 コレクション展示室

新収蔵品展 9/6(土)～28(日)

令和6年度に新たに収蔵された作品を紹介する「新収蔵品展」を開催します。

周南市美術博物館では、周南市ゆかりの作家の業績や歴史資料を後世に伝えること、また、特色あるコレクションを目指して、資料の収集を行っています。

美術部門では、宮崎進や岸田劉生、大庭学僊などの作品、歴史部門では児玉源太郎の書を展示します。また、写真部門では、林忠彦受賞作品である、新田樹「Sakhalin」(第31回)、奥山淳志「BENZO ESQUISSES 1920-2012」(第32回)を展示します。



岸田劉生「白狗図」1923(大正12)年頃 絹本彩色

展示室 4 林忠彦記念室

カストリ時代—復興・戦後混乱期を生きる人々— 9/30(火)まで

林が戦後の混乱と焼け野原から復興していく東京で、懸命に生きる人々の姿や世相を10年にわたり撮影し続け、のちに写真集としてまとめたものが『カストリ時代』(1980年 株式会社朝日ソノラマ)です。

カストリとは終戦直後の闇市で売られていた粗悪な密造酒のことです。同時期、粗悪な紙に印刷された大衆向け雑誌が次々と発行され、カストリ雑誌*とも呼ばれました。林が撮影した写真も数多く掲載されました。『カストリ時代』は、この時期を描写していることから付けられました。

*カストリはアルコールが強く3合も飲めば酔いつぶれてしまうことと、3号出せば休刊・廃刊になるものが多かったことをかけたという説がある

びびびの美
(2025年7前半号)
こちらから展示内容の
紹介をご覧ください。



「焼け跡の親子」〈東京 高田馬場〉
1947年 撮影 林忠彦

展示室 5 まど・みちおコーナー

今回の内容の展示は9/30(火)まで

作品に近づいてみると、緑や青のボールペンのぐるぐるやフェルトペンでの黒の点々なども見えてくるでしょう。まどさんはただ色を塗り重ねるのではなく、いろいろな描き方をこの1枚の作品の中で試みています。

その独特な表現に注目して、作品に近づいたり、離れたりしながら、じっくり味わってみてください。



「みなもと」 制作年不詳
クレヨン、水彩、ボールペン、フェルトペン、削り・紙

徳山の歴史 特設コーナー

「昭和100年
周南のうつりかわり」
9/2(火)～12/28(日)

今年は、昭和100年にあたります。
昭和の時代のまちのうつりかわりを写真や資料でたどります。



徳山駅(昭和12年頃)



徳山駅前ロータリー(昭和30年代)

周南市美術博物館 その他の9月の展覧会

9:30～17:00(入館は16:30まで)

観覧無料

- 第18回周南美術連盟展 9/5(金)～9/7(日) (9/5は13:00～、最終日は16:00終了)【展示室1】
- 第21回周南書道連盟展 9/13(土)～9/15(月・祝) (最終日は15:30終了)【展示室1・2】
- モダンアート山口支部展 9/24(水)～9/28(日) (最終日は15:00終了)【展示室1】

美博クイズ～!〈140〉 こたえ

②約100回

次回の「やなせたかし展」で
104回だよ。

■標記部
産業安全・消防・交通標識・金属看板・各種旗
ステッカー・ネームプレート・プラスチック加工

Sign & Gift

岡寺産業株式会社

〒745-0062 周南市月丘町3丁目6 TEL(0834)31-4321
FAX(0834)31-4323
記念品部直通 TEL(0834)27-4322

ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

「新収蔵品展」 9/6(土)~28(日)

第18回周南美術連盟展 9/5(金)~7(日)

第21回周南書道連盟展 9/13(土)~15(月・祝)

モダンアート山口支部展 9/24(水)~28(日)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

企画展「土居 健展~版画でめぐる風景」
9/20(土)~11/24(月・休)

尾崎正章常設展「花の香り」 9/20(土)~11/30(日)

防府

毛利博物館 ☎0835-22-0001

企画展「毛利家のたからものーその1・漆かがやく
武具・馬具・調度品ー」 ~9/8(月)企画展「没後400年記念 毛利輝元
一家の儀あいつぎ候てー」 9/12(金)~10/26(日)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

岩合光昭 写真展 PANTANAL /
THE CATS ねこ科 ~9/7(日)歌川国芳展ー奇才絵師の魔力
9/25(木)~11/24(月・休)

萩

山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400

躍動するアジア陶磁ー町田市立博物館
所蔵の名品からー ~9/23(火・祝)

萩博物館 ☎0838-25-6447

夏期特別展「絶滅動物展ー未来へつなぐ生きものがたりー」 ~9/21(日)

長門

香月泰男美術館 ☎0837-43-2500

戦後80年 香月泰男 戦争の記憶・私の地球 /
特別展示「香月泰男のシベリヤ・シリーズ」 ~9/28(日)

下関

下関市立美術館 ☎083-245-4131

特別展「古代エジプト・ふしぎ発見！
ーナイルの贈り物と秘められた物語ー」
9/9(火)~10/19(日)

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

企画展「元清と輝元」 ~9/15(月・祝)

特別展「昭和100年記念 思い出の下関」
9/19(金)~11/16(日)

~ TOSOH PARK 永源山の中にある美術館 ~

周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

■ 9時30分~17時(入館は16時30分まで)

■ 観覧料: 一般200円(160円) 学生等100円(80円)

()内は20名以上の団体 ※18歳以下および70歳以上無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳等をご持参の方とその介護の方は無料

■ 休館日: 月曜日 ※9/1(月)~19(金)は展示替え等のため休館

企画展

中・小展示室

9月20日(土)▶11月24日(月・休)



土居 健「唐招提寺の月」1997年 多色木版

月光の下にたたずむ唐招提寺。桜の花越しに月が見えます。澄んだ空気の中で春の香りが漂ってくるような作品「唐招提寺の月」(上図)。

土居は海外を旅して印象に残った風景も作品にしました。特にイスタンブールの街が好きで、ブルーモスクの幻想的な夜明けを版画にしています(「暁のイスタンブール」(左下図))。



土居 健「暁のイスタンブール」1990年 多色木版

山口市出身の土居健(1929~2001)は版画家として、尾崎正章とほぼ同時代に活躍しました。彼の版画の多くは、いくつかの版を使って刷る多色木版です。ふるさと山口をはじめ、日本各地の名所や海外を旅した時の思い出など、印象深い風景を作品に残しました。

常設展

大展示室

尾崎正章常設展「花の香り」

9月20日(土)▶11月30日(日)

ガラス瓶に活けられたアネモネ、力強く咲く菜の花、背景の花模様ー色とりどりに描かれた花々から今にも香りが広がってきそうな作品を紹介します。香りは、心を落ち着かせたり、かつてその香りを嗅いだときの記憶を呼び起こしたりもします。尾崎がどんな香りや記憶とともに作品を描いたのか想像しながらご覧いただければと思います。

「アネモネ」1970年
パステル・紙最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。 <http://s-bunka.jp/kyoubi/>

ミニコラム ガス燈

「マイ・イン
タン」という映
画を観たことは
ありますか。華
やかなファッション
サイトの社長
として働くヒロ

インが、40歳も年上の「シニア」
インタンの男性と出会い、心
を通わせていく様を描いてい
ます。最初は鬱陶しく感じて
いた存在でしたが、いつしか彼
の的確な助言を頼るようにな
り、彼女は降りかかる危機を
も乗り越えていきます。2人の
出会いは、それぞれの人生を
より良いものへと変えていつた
のです。

人生を豊かにする出会いと
いうのは、人との出会いだけで
はありません。偶然手に取った
小説が面白かったり、友人か
ら勧められた音楽が好みだっ
たり、誰かと行った美術館で
観た絵画に感動したり、世の
中にはまだまだ知らない素敵
なものがあったりとたくさんあ
ることでしょう。出会うまでは想
像してはいないけれど、自分の好
きなものや感動と出会った時
には、日常が色づき、世界の広
がりが見えてきます。

美術館は9月で開館
30周年を迎えました。ロビー
にはこれまで開催した展覧会
のチラシを一面で眺めること
ができるタペストリーもありま
す。これまでも、これからも、美
博が皆さんのまだ出会ってい
ない感動や新しい世界との出
会いの場になれば幸いです。

(佐内)

周南市美術博物館
開館30周年記念

周南市美術博物館30年の軌跡

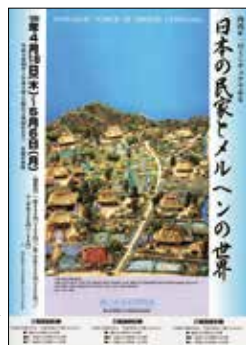
「この地に30年。この街と、これからも。」

周南市美術博物館は、今年で開館30周年を迎えます。絵画・彫刻・写真・歴史など、さまざまな展覧会を開催してきました。思い出の展覧会を一緒に振り返りましょう。これからも、温かいご支援をよろしくお願いいたします。



1995年度

開館記念展



1996年度

1996年度



1997年度

1997年度



1998年度

1998年度



1999年度



2000年度



2001年度

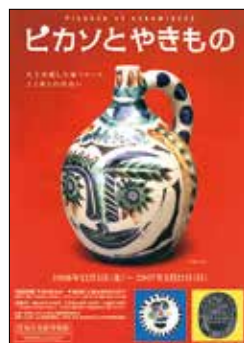


2003年度



2004年度

2005年度



2006年度

2001年度

2003年度

2005年度

2007年度

2007年度



2008年度



2009年度



2009年度



2010年度



2009年度



2010年度



2011年度



2011年度



2011年度



2012年度



2013年度



2013年度



2013年度



2013年度



2014年度



2014年度



2016年度



2016年度



2015年度



2015年度



2015年度



2016年度



2016年度



2016年度



2017年度



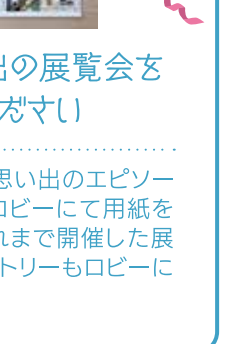
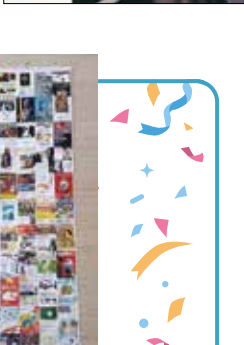
2018年度



2019年度

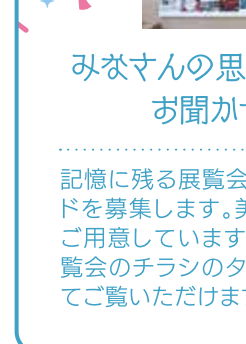
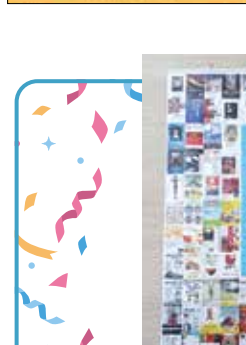
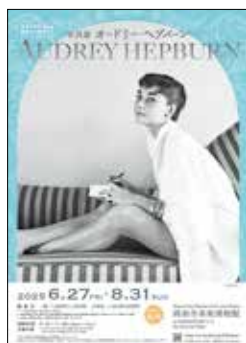


2022年度



2023年度

2024年度



2025年度

みなさんの思い出の 전시会を お聞かせください

記憶に残る 展覧会や、思い出のエピソードを募集します。美博ロビーにて用紙をご用意しています。これまで開催した展覧会のチラシのタペストリーもロビーにてご覧いただけます。